

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	LikePot久留米南				公表日	令和7年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	利用人数にばらつきがあるので、基準配置は守りながらスタッフ人数の配置を調整している。	利用者の体調不良等の欠席等でバランスが安定しない事があるため調整が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	絵カードなどで玩具の場所や気持ちを提示できるようにしている。	更に改善できる点があるか精査し改善をおこなっていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	清掃は毎日行っている。 活動に合わせて使用する部屋を変えている。	ホールが広く、仕切りが無いので遊びや活動が混ってしまう事があるのでパーティションやタイマーで区切りを付けていきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個室でのクールダウンが必要な場合は、部屋が使用できるよう確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		現在は利用者・社内の2者評価を取っている。第三者など外部評価については、今後必要に応じて実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		社内研修に参加している。 外部研修の情報提供がある。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			公表の段階で、保護者へもお知らせする。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		モニタリングやアセスメントを実施し、要望や課題を分析を行い放課後等デイサービス計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		個別支援計画作成時は、カンファレンスを行いスタッフ数人で検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		朝礼やミーティングで情報共有を進めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	毎日記録を残し情報共有を図っている。また、カンファレンスや支援者会議、個別支援計画書作成時に使用し確認を行っている	確認を行ったスタッフのみではなく全体に周知していく
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングを行い、保護者の方の要望や願いを聞き、それに応じた計画書作成を行っている。	確認を行ったスタッフのみではなく全体に周知していく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			ガイドラインを用いて、スタッフの理解が深まるよう研修を行っている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			日頃から関係構築に努めているが、連携が少ない機関もある。今後も継続して進めていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		保護者を通してや、送迎時に情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		直接情報共有ができていないケースもあるため、今後連携を図っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	1	移行支援会議がある際は参加している。依頼があれば、書面での情報提供を行っている。	会議が開催されない場合、依頼がない場合ができていないため、保護者の声掛けを行い必要時は情報提供していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		あまり関わりがないので、自立支援協会などを活用し、関係を深め連携を図りたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		放課後児童クラブや児童館との関りがほとんどないため、今後検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	お知らせ等は貼りだしを行って、スタッフの参加を促している。	参加率が上がるように声掛けを行っていく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	子育てに関する相談はご要望に応じて迅速に対応している。また、玄関の目に入るところに、研修の情報を掲示している。	掲示のみではなく口頭でもお伝えしていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時、変更時に書面、口頭にてお伝えしている	書面などわかりやすいものを用いる
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		モニタリング時や送迎時の会話、連絡帳のやりとりでの確認を行っている	ごまめに聞き取りを行ったり、聞くことのフォーマット作成や聞き取り内容の保存を行う
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		サインをご記入いただく際に説明を行っている	最後に分からなかった事、わかりにくかった事などが無かったか確認を行う

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1	年に2回、交流会や勉強会のファミラボや家族参加型イベントの開催を行っている	去年開催時の反省点を活かし来年度も開催を行っていく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	餅つきは、地域の社会資源の協力を得て実施していく。	機会を増やしていけるよう検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	マニュアルの策定及び研修は法人研修で行っている。	保護者の方への周知を検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		年に2回避難訓練を実施している。	実施曜日が偏ってしまっているので偏らないように調整を行う。 家族への周知を工夫していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		食物アレルギーのあるおじさんが事業所で食事がある場合は事前に確認を行う	機会が少ないので抜けてしまわないように定期的にスタッフ間での確認、周知を行う
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成し、月に1度確認や研修を行う	常に確認できるように貼りだしを行う
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	周知を行っている。	意識定着の為定期的に取り組みを確認し、周知を図っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	1		現在該当者がいないため、身体拘束に関する内容は計画書に記載していない。必要な子に関しては、今後カンファレンスを実施し、ご家族の了承を得た上で個別支援計画書に記載を行っていく。	